

-----  
【上海レポート20220408】

大阪産業局上海代表処/大阪府上海事務所 所長 南浦秀史  
-----

### 【上海市における封鎖状況3】

本日現在、封鎖解除の通知はありません。その後、私の小区では、6日・7日、そして今朝と続けて抗原検査がありました。市当局は、重点区域とそれ以外で検査を分けており、陽性者が確認されている重点区域では核酸検査(PCR検査)が行われています。

封鎖がいつまで続くかわからない中で、威力を発揮しているのは、先日も紹介したWechat(微信)アプリです。今回の封鎖を契機にWechatで2つのことが起こっています。

一つは、住民のグループチャットです。これまで私のマンションではどこに誰が住んでいるのかまったくわかりませんでした。夜の明かりの灯り具合で、半分くらいしか入居していない、と思っていたほどです。ところが、情報伝達のために住民のグループチャットが立ち上がり、その結果、ほとんど空きがないということと、日本人が何人か住んでいるということがわかりました。私のところではマンションの棟単位でグループ化されており、私の棟は30戸で構成されています。今日は検査があるとか、入口にゴミ箱を設置しているので何時までに捨てに来てくださいといった情報が管理人から送られてくるほか、抗原検査の結果を写真でアップして報告するような使い方もされています。

もう一つは、集団購買です。検査の時とゴミを捨てる時以外は、住宅から出ることができませんので、これは小区の単位で、任意加入ですが集団購買のグループチャットが立ち上がっています。事業者が集団購買用のセットをつくって販売しており、ある程度希望者があれば、例えば、30セット以上から配達といったかたちで小区まで配達され、それを管理人やボランティアが手分けして各戸まで届けています。セットには、牛乳、豆腐、パン、野菜、果物、肉、卵、米、油など、わりと何でもあります。グループにセットの案内がされて、時間を区切って希望者を募るといった運用がされています。

私の家では子どもが小さなときに災害対策として食料を備蓄していましたので、ここ上海でも食料を備蓄する習慣が抜けず、日持ちのする麺やパスタ、米などのほか、冷凍食品や缶詰なども日ごろから備えて回転させていました。まだそれらにはほとんど手をつけていませんので、あと一週間くらいは問題ありませんが、いつでも食材を購入できるのは安心です。

過去の「上海レポート」、「中国(上海)ビジネスサポート」

[https://www.obda.or.jp/jigyo/ibo/overseas\\_shanghai.html](https://www.obda.or.jp/jigyo/ibo/overseas_shanghai.html)

発行・問合せ：(公財)大阪産業局上海代表処(大阪府上海事務所)

URL: <http://osaka-sh.com.cn/> E-mail: [osaka@ibo-sh.com](mailto:osaka@ibo-sh.com)